

デジ田の軸3

地方の課題を解決するためのデジタル実装

◆地方の**魅力**:SDGsなどパブリック価値そのもの
:「渋澤栄一」の視点

- 地方の**豊かさ**をそのままに、**利便性**と**魅力**を備えた新たな地域

の**魅力**を実現する持続可能な経済社会を目指して、デジタル実装を進めます

デジ田応援団の視点:「渋澤栄一(新一万円札)」の視点

◆(産業)地方の**魅力**には、これまでの地方自治体や企業など地域パブリックの供給者でなく、デジタル時代のパブリック需要者(CX(顧客)やEX(職員)体験)の視点が重要です
全国・世界の誰もが自分事としてかかわり、働き、学び、暮らしたくなる
しごとがあり、ひとがいるまち

それは、SDGsなどパブリック価値そのものです(「**新しい資本主義**」)

世界の資本主義に直面した、日本の産業革命・資本主義の父「渋澤栄一」
の合本主義(「宇沢弘文」社会的共通資本)や論語と算盤の視点などから

デジタル実装を進め、デジタル時代の地方の**魅力**を全国・世界に発信し、
SDGsなどパブリック価値を全国津々浦々で共創し**ボトムアップの成長**を実現します